

明日を拓く

札幌市立柏中学校
第3学年 進路だより
2026.1.23 第31号

公立高校出願状況発表

今週20日（火）に石狩学区の公立高等学校入学願書の一括受付があり、公立受検予定者全員分の願書を提出してきました。あとは合格目指してラストスパートです。悔いの残らないよう受験勉強にしっかり取り組みましょう！

さて、来週26日（月）の午前10時に出願状況が発表されます。自分の受検する学校の倍率が気になるところですが、倍率を見ただけで合格の可能性を即座に判断できるわけではありません。一般的には倍率が高いよりは低い方が合格の可能性が高いと言えるかもしれません。しかし、ここで気を付けてほしいのは、受検を希望している生徒の中で自分がどの位置にいるかということです。例えば、320人定員のところに640人が出願（倍率は2.0倍）した高校と、320人定員のところに352人が出願（倍率は1.1倍）した高校ではどちらが合格しやすいかということです。たとえ640人いてもその中で自分の順位が上位100番以内に入っていれば、倍率が2.0倍であろうと合格の可能性はかなり高いといえます。逆に1.1倍でも自分の順位が340番くらいのところにいれば、合格の可能性は低いといえます。従って倍率を見ただけで合格の可能性が高いとか低いとかは一概に言い切れない部分があるので注意が必要です。

公立高校出願変更について

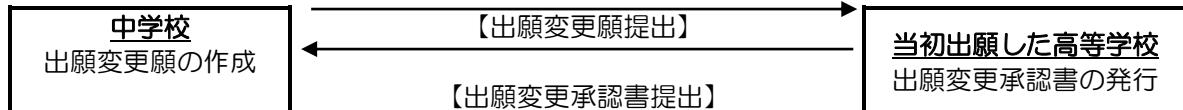
倍率の発表を受けて、1月27日（火）から2月2日（月）午後4時までが出願変更の受付期間となっています。ここまでいろいろなことを考え、何度もお家人や保護者と相談し決定した進路です。最後まで自分で決めた進路先に責任をもち、困難な状況にあっても自分を信じて最後まで頑張ってほしい、安易な出願変更はしないでほしい、というのが本音です。出願変更をしようと考えている場合は、お家の方や担任の先生とよく相談をしてから決断してください。

相談の結果出願変更することに決めた場合は、いろいろな手続きのための書類を用意しなければなりませんので、**校内での申し出締切は1月30日（金）の正午とします。**出願変更による出願状況の中間発表は1月29日（木）の16:30です。手続きの期間は限られているので、じっくり考えて慎重な判断（上記の内容も参考にしてください）をお願いします。なお、**出願変更手続は保護者の方に行っていただきます**（『出願変更願』等の書類を直接高等学校に持っていく、出願変更の手続をしてもらいます。場合によっては2つの高校に出向くことや郵送料が必要になることもあります）ので、よろしくお願ひします。出願変更を考えている人は、書類の準備がありますので**早めに担任の先生に申し出てください。**

出願変更の基本的な4つのパターン

①当初出願した高校での、志望学科の変更（工業系や商業系等の高等学校）

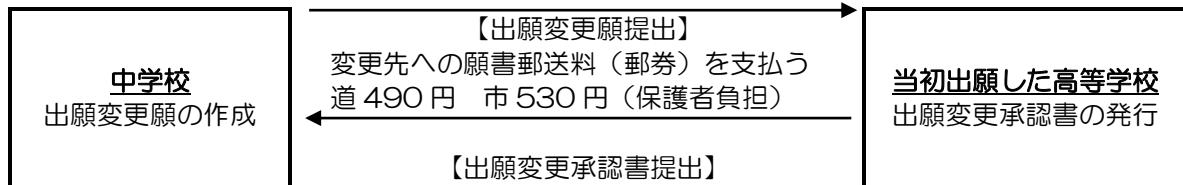
例：札幌工業の電気科 → 建築科



※必ず第1希望を変更する必要があります（第2希望のみを変更することはできません）

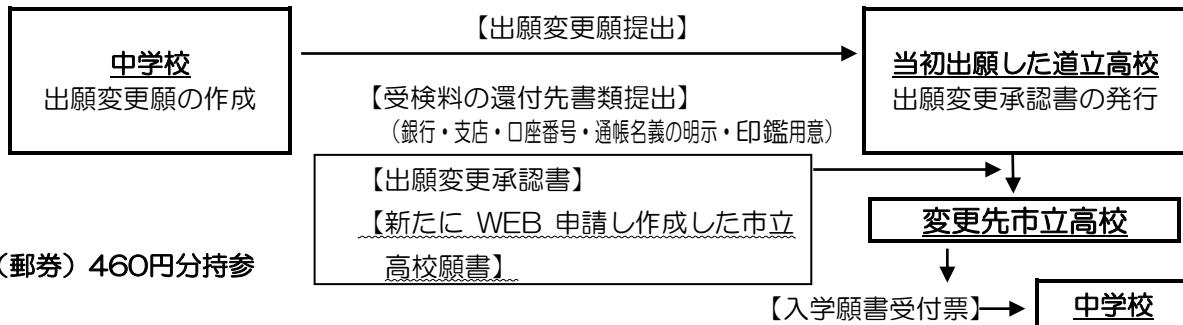
②道立高校 → 道立高校へ、市立高校 → 市立高校へ（願書は高校間のやりとり）

例：旭丘高校の普通科 → 藻岩高校の普通科



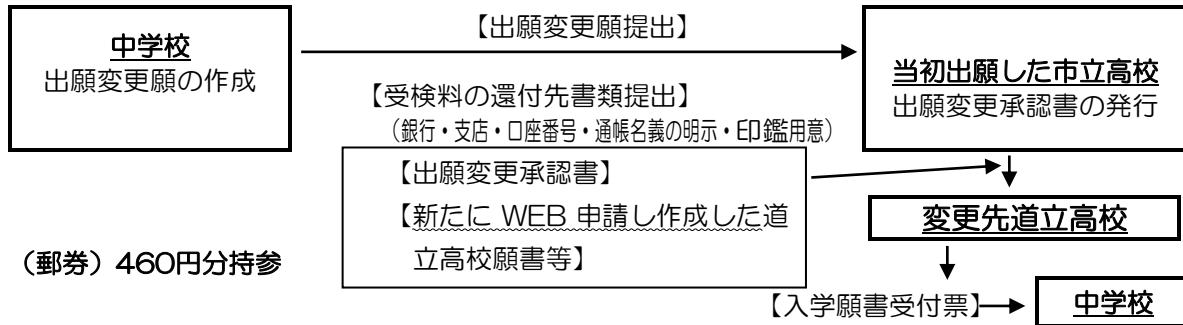
③道立高校 → 市立高校へ

例：西高校の普通科 → 旭丘高校の普通科



④市立高校 → 道立高校へ

例：旭丘高校の普通科 → 月寒高校の普通科



※出願変更については、変更可能な条件が緩和されています。ただし、従来通り不可能な場合もありますので、十分注意して下さい！（詳しくは進路説明会の資料に載せてあります）